

# 第41回 西海記念賞

埼玉産業人クラブ（増田文治会長）マスタック会  
 長は、研究開発や創意工夫で優れた成果を出した会  
 員企業の技術者をたたえる「第41回西海記念賞」を  
 決めた。受賞したのは「市町村や地域ごとの地下水  
 量を分かりやすく提示する『地下水価格マップ』」を  
 開発した日産へんがなま市大倉区（橋本拓弥さん）を  
 工業誌専用IoTモノのインターネットシステム  
 「X-CW-CM」を開発した久保井達彦（茨山出）  
 の濱井製糖社長。同社は埼玉産業人クラブでの代目社員  
 を務めた。三輪精機の西海園至夫氏による寄付金で創  
 設。2022年に日刊工業新聞に掲載された記事から  
 候補を選び、井筒正ら専門家に協力を仰いで決めた。

## 日々へんがなま市

市町村や地域ごとの地下水量を分かりやすく  
 提示する『地下水価格マップ』の開発

地質調査本部 橋本 拓弥さん  
 地下水研究グループ

地下水は目に見えないから、また万一環境汚染の可  
 能性がある場合などの種類  
 地下水に関わる仕事をして  
 うでよく目にする言葉してい  
 う。それと違って、地下水は  
 人々の生活に深く関わってい  
 水の例えは同じ日本社会を  
 さいたま市の水道水源のう  
 ち、〇割は河川水から取水  
 し、動は地下水を使ってい  
 日産へんの地下水を  
 み上げる井戸を掘り、人々に  
 命の水を届けている。さて  
 身近に地下水があることを周  
 知し有効活用してもらいたい  
 開発、公開したが、マスタ  
 ルデータ「地下水価格マッ  
 プ」だ。

同マップは産業界技術総合研  
 究所の共同研究において開  
 発。全国を各市町村や地域ご  
 とに〇〇〇〇メッシュに区切  
 り、地下水量のほか対象の地  
 下水の価格を示す価格を表示  
 している。開発は、中長期防  
 災の需要変化や人口の増  
 減といったニーズを  
 プの開発を見据え  
 る。これにより利  
 害は将来を見据え  
 上での都市開発や防  
 災用井戸の開発が実  
 現。日産へんの  
 戦は今後も続



地下水価格マップを開発する橋本さん

地下水価格マップ



地下水価格  
 (10円/立方メートル)  
 11,000  
 0